

審 議 結 果

次の審議会を下記の通り開催した。

審議会等の名称	第1回 益田市男女共同参画審議会
開催日時	平成28年7月6日（水）13時30分から15時30分
開催場所	市民学習センター 多目的ホール
出席者及び欠席者	<p>○出席者</p> <p>[審議会委員]片岡佳美委員、羽柴貴宏委員、弥重節子委員、吉松志保委員、寺本年生委員、篠原知子委員、永易大樹委員、出雲佳代子委員、広中郁美委員、大賀 温委員、西村満大委員、大久保稔委員、山尾優美委員、小川律子委員 14名</p> <p>[関係課]村上健康子育て推進監、藤井人事課長、石川子育て支援課長、齋藤健康増進課長、武内生活福祉課長、瀧本高齢者福祉課長、山本賢二農業振興課長、山本裕士林業水産課長、伊藤社会福祉教育課長補佐 9名</p> <p>[事務局]原福祉環境部長、田中人権センター館長、山下主幹、細川主任 4名</p> <p>○欠席者</p> <p>大久保稔委員 1名</p>
議題	（1）益田市男女共同参画計画の進捗について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	福祉環境部 人権センター 電話：0856-31-0412

経過

1 開会	
2 委嘱状の交付	
○市長より出席委員へ委嘱状を交付	
3 市長あいさつ	
市 長	本市では、平成13年に益田市男女共同参画計画を策定して以降、誰もがいきいきと安心して暮らすことのできる豊かで活力に満ちた社会を築いていくため様々な取組を進めてきた。平成26年4月には、益田市男女共同参画推進条例を制定し、男女共同参画社会の実現をめざすこととしている。この間、社会情勢の変化や男女共同参画の視点に立った取組の必要性が認識されるようになり、本年3月に第3次益田市男女共同参画計画を策定した。今後は、こ

	の計画により男女共同参画社会の実現をめざし、推進を図っていくこととしている。まさに本市が総合振興計画で目標にしている「安心して生活ができ誰もがいきいきとしているまち」の実現そのものと感じている。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただき男女共同参画社会の実現に向けより一層のお力添えをお願いしたい。
<b>4 自己紹介</b>	
<b>5 益田市における男女共同参画の概要について</b>	
○益田市男女共同参画推進条例概要版 ○益田市男女共同参画推進条例施行規則 ○男女共同参画を進めるために 用いて館長より説明	
事務局	過半数の出席による会議の成立を報告、会議録・審議会委員名簿のホームページ掲載の承諾
<b>6 会長・副会長互選</b>	
○委員の推薦により片岡委員が会長に就任、山尾委員が副会長に就任。	
<b>7 議題- (1) 益田市男女共同参画計画の進捗について</b>	
①平成27年度事業実績について	
○平成27年度益田市男女共同参画評価シート(資料1-1) ○平成27年度益田市男女共同参画進捗評価表(資料1-2)を用いて館長より説明	
委員	条例では年次報告をするように定められているが、評価シートが年次報告になって公表されるのか?それとも進捗評価表か?
事務局	評価シート(資料1-1)、進捗評価表(資料1-2)どちらも公表する。
委員	進捗評価表は審議会委員の意見・提案を加えて公表するのか?
事務局	そのとおり。
委員	進捗評価表(資料1-2)、施策5の中で、「性教育」とあるが、今「性に関する指導」となっているのではないか?教育委員会に確認をして対応してほしい。
委員	資料の見方について、評価シート(資料1-1)の目次のページ欄に記載がないのは実施していないから出していないのか?
事務局	事業がなかったもの、もしくは別の課で事業を行ったものは記載していない。
会長	計画には上がっているが、担当課から事業実施していないと回答があったからページがないという理解でよいか?
事務局	そのとおり。
会長	その理由は聞いたか?6番、32番、40、41、・・・。どのような理由でやっていないのか聞いていたら教えてほしい。

事務局	例えば、90番は計画当初は事業を予定していたが、年数の経過により事業が行われなくなったため、担当課より提出がなかった。資料1-1は27年度事業実施がなかったものと理解していただきたい。
会長	27年度に限って事業を実施しなかったから回答がなかったと理解してよいのか？
事務局	そのように理解していただきたい。
委員	資料1-1の29ページに、社会教育課で「再掲」とあるがこれは26年度と同じことをやっていたということか？
事務局	資料1-1の17ページに、同一事業を記載している。同一年度内の同一事業は再掲という形で表記した。
委員	27年度の再掲か？
事務局	そのとおり。
委員	資料1-1の具体的施策6について、子育て支援課は事業実施していないが他のところと協働して事業をやっているということはないか？全くやってないのですか？
事務局	全くなっていないということではない。
委員	全くやっていないということではないが、本年度はやっていないということか？
事務局	そのようにご理解いただきたい。
会長	再掲は何が再掲なのか？何ページの再掲とか記載すると誤解がない。
委員	資料1-1のページ欄に横線が引いてあるのは目標を達成したからか？事業を実施していないからか？ここを明らかにすることはできないか？ 例えば、具体的施策49では、計画の中に検討すると記載されているが、検討したけれども事業実施は難しかったのか？今年度についてはやっていないだけなのか？
担当課	具体的施策49、50について、計画策定段階では本市の子育て施策としては必要だろうということで載っているが、実施するための組織など、課題もあり実施は難しい。昨年7月、子ども子育て支援制度がスタートするときに実施計画を作っているが、この中でも夜間保育事業や子育てショートステイ事業を取り組みたいとしている。しかしながら現段階では実施に至っていない状況である。また、具体的施策53、保育所改築支援について、27年度は改築を希望する保育所はなかったということでご理解いただきたい。26年度では支援をしているし、今後改築を計画しているところもあるし順次支援をしていきたいと考えている。

会 長	その状況が評価シートにも載っていると分かりやすい。予算も評価シートに載っているの、実施しなかったらその予算はどうなったのか？市民としても気になる所である。計画に記載があれば、評価シートにも実施した事業がなくても状況載せていただきたい。
委 員	資料 1-1 の 4 ページ、具体的施策 10、11 について、評価及び課題に、「相談件数が増加しており緊急性がないと思われるところについては電話確認で終わっています。」とある。実際に状況確認が必要、相談体制の充実が必要であると考えているにもかかわらず、また、全国的には事件がかなり起きている状況だが、28年度は家庭訪問しているのか？きちんと体制を整えてほしい。
担当課	年々、支援を必要とする家庭が増えてきているので、児童相談所や関係機関、団体との連携を図りながら家庭訪問等行っている。また、虐待の未然防止や、相談支援を必要とする方々の不安の軽減に繋がる取組も行っている。28年度は産後デイケア事業をあんしん相談室ではじめた。委員が言われたとおり大切なことであると認識しているので、引き続きしっかりケースへの対応をしていきたい。
委 員	資料 1-1 の評価及び課題欄について、担当課によって、成果や課題を具体的に書いてある課と、情報提供したと書いてある課がある。情報提供は評価でも課題でもなく、やったという事実。だから、情報提供したことによって、どういうふうに意識が変わったか、どんな課題が出てきたか、もっと課題として取り組むべきではないかとか、そういったことが評価や課題としてあげるべきである。統一していないのでこれでは分かりにくいので、もう少し検討してほしい。
会 長	資料 1-1 の評価シートの書き方ですね。事務局は書き方の指示はしたのか？
事務局	指示はしていない。今後は統一するよう対応していきたい。
委 員	例えば、高齢者福祉課のように具体的に評価と課題が書いてあると分かりやすい。
委 員	事業実績も単年度だけでなく、過去3年間くらいの推移が分かるような報告をしていただきたい。他市では実績をグラフにして報告しているところもある。資料 1-1 の 4 ページ、子育てあんしん相談室の相談の内容も年々変わっているのではないかと思うので、過去3年間くらいの動きも含めて報告していただきたい。
会 長	5年間の計画で動いているので、5年間が見えるような形になっていると分かりやすいし、課題も見えやすい。事業実績欄を工夫して5年間が見えるよう検討してほしい。

会 長	資料１－２はいかがか？
委 員	資料１－２、進捗評価表の施策１について、男性のためのブラッシュアップセミナーだが、受講者の人数が１７人、１８人、２１人となっている。参加者の属性を教えてほしい。
事務局	対象者を２０代から４０代の若い世代にして募集したため、人が集まらず苦労した。受講者は労働者や農業者・・・。
委 員	市役所の皆さんというわけではないのか？
事務局	ホームページ等で広く市民を対象に募集したが、なかなか集まらず最終的には個別に声かけをして参加を募った経過はある。
委 員	せっかくいいものをしているので、防災無線など周知方法を検討してほしい。
事務局	防災無線を使ったが、対象者を若い世代に絞ったので、集客は難しかった。
委 員	引き続き周知方法の工夫をしていいものをより多くの人に伝えてほしい。
会 長	セミナーは金曜日の夜に開催したのか？
事務局	夕方に開催した。
委 員	施策２、女性に対すあらゆる暴力の根絶について、個人情報もあるが相談の内容など、実態が伝わってくる報告をしていただきたい。シビアなのか？問題はないのか？この報告では伝わってこない。
会 長	資料１－２の施策２について、例えば、「関係機関と連携し充実を図ることができた」とあるが、どんな関係機関とどんな連携をしたのか。例えば保護施設が市内になく市外に出られる際、学校と連携して転校手続きを行ったとか。具体名はあげなくてもいいので、そういったことが分かると、相談対応が充実してきたと判断できる。
事務局	人権センターが対応した女性相談１０６件のうち、ＤＶに関するものは昨年度５件程度。内容によって市のＤＶ相談窓口である子育てあんしん相談室に繋ぎ、そこから児童相談所の女性相談へ繋ぐ。昨年度人権センターで受けたＤＶ相談のうち、子育てあんしん相談室へ繋いだのは１～２件。状況を聞きながら、今は支援が必要ないと確認して話を聞くだけで終える場合もある。女性相談もＤＶだけでなく、金銭的な問題や障がいなど、様々な課題を抱えている場合が多い。
委 員	今、色々な問題が子育てあんしん相談室へ集中してきているのではないかと思うが、相談の内容が分からない。もっと問題が深刻、シビアだと伝わるような報告・分析を考えていただきたい。
担当課	次回からは、例えば、相談内容や件数、連携する機関や相談の傾向など、具体的な内容が分かるようにお示ししたい。要保護児童対策協議会の登録児童の中で、子育てあんしん相談室が関わっているのは平成２７年度４０件。平

	<p>成 2 8 年 4 月 1 日では 4 6 件。年々この件数は増えてきており、未成年世帯（20 歳以下の世帯）も 1 0 件程度毎年あるような状況。支援を必要とする深刻な世帯もあり児童相談所はもとより保育所、幼稚園、教育委員会、学校など、子どもに関係する団体と、個別に連携を取りながら働きかけを行っている。</p>
委 員	<p>以前、益田はDV 件数が高かったが、昨年度減っている。市では様々な啓発活動や未然防止教育を実施し、少しずつではあるが相談体制も充実してきている。施策 9、職場における男女共同参画の推進について、具体的には、資料 1-1 の 3 5 ページ、セクハラ・パワハラの防止がうたってある。情報提供をして推進を図りますとずっと言っているが、昨年度市が行った調査では 1 4. 7 % の人がセクハラ被害に遭ったと言っている。これは、7 人に 1 人の割合で、5 年前の調査では 8 人に 1 人であったが被害者が増えてきている。これは、情報提供だけではなくて、まず、各企業のセクハラに対する取組や相談体制、実態など、アンケートを取るだけでも啓発になるので何らかの対策を取っていただきたい。セクハラ防止の具体的な施策を考えてほしい。</p>
会 長	<p>次に繋げていただきたい。</p>
委 員	<p>資料 1-1 の 4 1 ページ、重点及び新規事業に、家族経営協定の内容が書いてあるがこれが目的ではなく、男女がお互いに一緒に仕事をしていこうというのが協定締結の目的。また、家族経営協定は 3 4 家族とあるが、協定を結んでどう変わったか、見直しの有無、締結の内容、満足度など、経過が書いてあると協定締結がいいことであると分かる。認定農業者になるのが目的ではないので、報告の書き方を考えてほしい。</p>
担当課	<p>家族経営協定について理解していただくため、説明を記載した。2 7 年度新規に協定締結した家族は 1 件、協定の見直しを行った家族もあった。協定を結ぶことによって農業経営だけでなく家事や育児なども含めた役割分担をして、お互いを認め合うということに繋がる。過去、どういった形で家族協定を締結したか経緯についてお示しできるが、家族経営協定を結んだ家族にその後の追跡調査はしてないので、それは今後の課題である。</p>
委 員	<p>協定には、労働時間は朝 8 時から夕方 5 時までとかでてくるので、どういう条件にしている家族が多いのか、内容が知りたかった。協定の内容があるなら、共通の協定内容や家族の課題などを聞いたかったし、事業実績に出てくると、家族経営協定はいいものだということが分かる。また、兼業農家や小規模の農業者が協定を結ばなくても内容を取り入れたり、そういう考え方をしていけないといけないということに繋がる。</p>

担当課	家族経営協定によって取り決める内容は家族によって異なるが、役割分担、収益の分配、休みの取り決め、家族旅行の取り決めなどがある。協定にはひな型があるが、これにこだわらず家族が皆で話し合いの上、協定書を作成して認め合って取り組んでいこうということ。追跡調査はしていないので、成果は分からない。
会 長	行政から家族にああしろこうしろと言うのは難しい。話し合いができるということ啓発するのは大事。数が出てくるので、数値目標に気を取られて、成果や検証、なぜ増えないのかといった分析をしないと思うので、そこをぜひお願いしたい。行政は会議の女性の割合について話題になるが、そこでも数字にばかり目がいってしまう。しかし、なぜ増えないのかといった分析の眼が必要な時にきている。分析をすることで、次何をすべきかといったことに繋がってくるので、そういう視点を今後持っていただきたい。
<b>7 議題- (1) 益田市男女共同参画計画の進捗について</b> <b>②平成28年度事業計画について</b>	
○平成28年度益田市男女共同参画事業計画について（資料2） <div style="text-align: right;">を用いて館長より説明</div>	
会 長	今年度の計画について、質問、意見を受けない。
委 員	資料2の具体的取組5について、昨年度の市民意識調査では性別による固定的な役割分担意識が根強いとか、男女不平等に対する男性優遇感が強いという結果が出ており非常に問題だと感じている。27年度の課題にもあげているが、それを28年度にどう繋げるのかということで学習機会の提供と書かれている。特に、公民館講座における男女共同参画研修の実施をするとあるが、もっと具体的なプログラムを示してほしい。人権センターでの研修会はあると思うが、地域で浸透させるためには公民館単位での取組、意識改革、啓発が大事だと思う。公民館での研修はどのようなものか、具体的に聞きたい。
担当課	公民館活動では、食育、男性のための料理教室、育メン事業など実施している。今年の4月から初めてあるが、豊川小学校と豊川公民館の協働により、地域間、世代間を超えた関わり方をすることで男女間に働く環境など1年間で検証していく取組を行っている。さらなる公民館と小学校、地域間の協働、男女共同参画の推進を図っていきたく考えている。
委 員	それは豊川地区だけで、これだけ男女の固定的な役割分担意識が改善されていないということは大きな問題だと思うので、全公民館での出前講座も含め、豊川地区だけでなく全地区に広げて行っていただきたい。
委 員	27年度に人権研修に参加している方がどれくらいいるのか？
事務局	どういった研修を想定しているのか？学校で実施するもの？人権センターで実施するもの？
委 員	学校だけではなく、どういったところでどのような内容の研修が実施されているのか知りたい。

事務局	人権センターでの研修については把握しているが、今日は資料を持ち合わせていないので、後日回答したい。各学校については、本日、担当課が来ていないので、人権研修を実施していることは知っているが内容についてお示しすることができるかを含め、後日回答することとしたい。
会長	P T Aでは取組をされていると思うが、男女共同参画の催しものや講演を実施しているか？情報提供してほしい。
委員	P T Aでは特に取り組んでいない。P T Aでは教育環境づくりに没頭しておりそこまでに至っていない。しかし、P T Aの役員には男女同数、もしくは女性の方が多いかもしれない。女性ならではの意見、男性ならではの意見がでて、新鮮で男性だけでなく女性の意見の必要性を感じることはあるが、発表できる事例はない。
会長	仕事や子育てに忙しい世代なので、そういった人達をどう巻き込んでいくかというのは課題。せめてP T Aは大人世代が関わるところなので、人権とか、男女共同参画といった取組ができるといいと思う。
委員	人権擁護委員活動の中に男女共同参画推進委員会があり、寸劇やクイズ、ビンゴなど色んな内容を盛り込んで楽しく男女共同参画を学ぶ活動をしている。市だけではなく、色んなグループが男女共同参画について啓発をしているところと連携を持ちながら情報提供し合うことも大事ではないかと思う。
会長	色々なところからこの審議会に集まっているので、お互い情報提供をこういうときにできたらいいかと思う。
委員	各地区振興センターでは、人権研修は年1～2回やっている。人権研修や男女共同参画の研修をしても来る人は少ない。資料2の7ページの具体的取組25、運営委員会や自治会などに女性委員の登用を、というのが地域住民の意識を変えないとトップダウンで持っていてもなかなか委員になる人はいない。また、人権研修や男女共同参画出前講座を実施しても参加率は悪い。講座も大事だが、日頃から広報とかで意識を変えていかないと次のステップへ進むのは難しい。
会長	なかなか忙しい方々に振り向いてもらうのは難しい。
委員	今日の資料の中に「男女共同参画を進めるために」という啓発チラシがあるが、男女共同参画ワーキンググループで地域への普及のために作ったので、拡大コピーして公民館にぜひ張っていただきたい。
委員	どの公民館にも掲示板があるので張ることは可能。
会長	ゆるキャラをつけたり、みんなに親しみがあるように工夫が必要。
委員	ハローワークなどがチラシを配るが、配るだけでは従業員が見て興味を示すところまで発展はしない。もう一步踏み込んで、アンケートや企業に対して調査が必要なのではないかと昨年度も提案したが、27年度の事業実績を見



	てとても残念に感じた。28年度の事業計画8ページに、調査のことが記載してあるので、もう少し企業の中で啓発活動をやっていたきたい。
委員	調査をするのであれば、ぜひマタハラも調査項目に加えていただきたい。こっころカンパニーは益田市は少なくて進展がないが、こっころカンパニーも子育て支援宣言企業についても数値目標を掲げていただきたい。
担当課	子育て支援宣言企業については、担当課が子育て支援課になっており、3月議会では、市長が市政方針の中で子育て支援宣言企業認定制度を創設すると言っている。子育て支援課も産業支援センターと一緒に色んな項目を盛り込んだ調査を実施することを予定している。宣言企業認定制度の創設も秋頃をめざしたいとして動いており、10社の認定を出すことで具体的数値をあげている。制度の内容について精査しており、他市や他県の取組を見ながら宣言企業の登録をしてもらえよう制度の創設を進めていきたい。
委員	若い人を対象にした研修を考えているか？
事務局	6月には人企連と一緒にハラスメントの講演会を行ったばかり。人権センターではあまり対象を絞った研修は行わず、広く市民を対象に講演を行っている。男女共同参画だけでなく、さまざまな人権課題に対応した研修を行っているのでぜひご参加いただきたい。
委員	女性職員の管理職の数値目標を32年度までに部課長を15%、課長補佐を25%としているが、28年度の数値目標を掲げることにはできないか？
担当課	1年では難しい。5年計画で達成をしていきたい。
<b>8 その他</b>	
①益田市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画について	
②イクボス宣言について	
○益田市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画 を用いて人事課長より説明	
○イクボス宣言について（男女共同参画通信） を用いて主幹より説明	